

令和5年度 予算特集号

広報
Ako City
Public
Relations



2023
Special Number
令和5年4月10日発行



みんなでつくる日本遺産写真展受賞作品（最優秀賞）「追憶」 武村 晴人 氏

「自然と歴史に育まれ 笑顔と希望あふれる 活力のあるまち」を目指して

- 令和5年度当初予算総額 523億9,353万円…………… P2～3
- 令和5年度一般会計当初予算総額 228億3,000万円…………… P4～5
市民1人当たりの予算額
- 4つの柱ごとの主要施策 …………… P6～15
- 写真で見る予算 …………… P16



みんなで作る日本遺産写真展受賞作品（優秀賞）「天の恵みと地の恵み」 村上 正幸 氏

『自然と歴史に育まれ 笑顔と希望あふれる 活力のあるまち』を目指して

令和5年第1回赤穂市議会定例会において、新年度予算案をはじめとする諸議案が成立しました。3月1日に牟礼市長が表明した施政方針に沿って、主要な施策の概要と予算のあらましについてお知らせします。



私は、さきの市長選挙におきまして、無投票による当選という結果を受け、2期目の市政を担わせていただくことになりました。改めて、その責任の重さを実感し、身の引き締まる思いです。

1期目の市政運営にあたっては、議員各位をはじめ、市民の皆様のご指導、ご理解をいただきながら、市民一人ひとりの力こそがまちづくりの一番の原動力であるというゆるぎない信念のもと、市政の更なる発展に向け全身全霊で取り組んできました。

しかしながら、長期化するコロナ禍に加え、原材料価格の上昇やエネルギー・食料価格の高騰などにより市民生活は大きな影響を受けています。また、国の想定を上回るスピードで少子化、人口減少が進展する中、地方創生の取り組みをはじめ、出産・子育て支援の充実、更には激甚化・頻発化する自然災害に備えるための防災・減災対策など、従来にも増して地方自治体を取り巻く環境は厳しさを増しています。

このため、私は職員と一丸となり、粉骨砕身全力でこの難局に立ち向かっていきたいと考えています。

先般、国においては、足元の物価高を克服しつつ、経済再生の実現に向け、成長分野への大胆な投資等による新しい資本主義を加速させるため総額約114兆4千億円の令和5年度一般会計予算が編成されたところです。

本市における財政状況は、歳出において、病院事業会計への経営改善に向けた繰出金を確保するほか、人件費や扶助費などが引き続き高い水準で推移する一方で、歳入において、地方消費税交付金などの増収が見込まれるものの、市税など一般財源収入全体では伸びが期待できないため、依然として基金を取り崩さざるを得ない厳しい財政環境にあります。

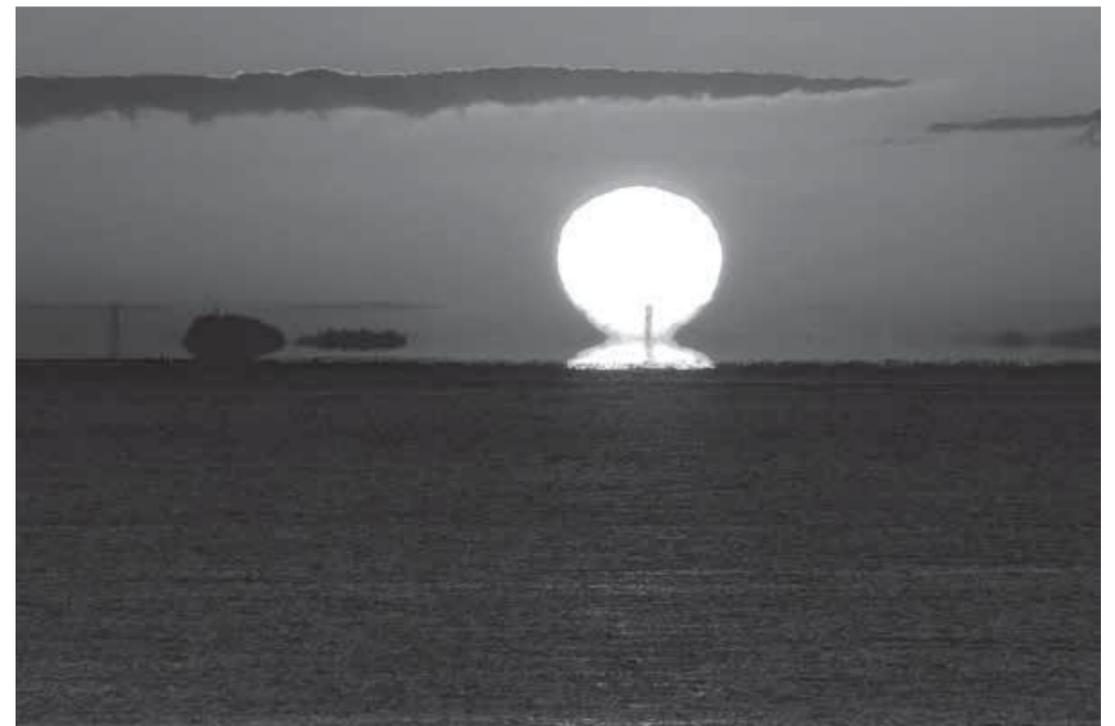
このため、新たに第9次赤穂市行政改革大綱を策定し、多様化する財政需要に対応し、人口減少が進む中でも持続可能な行財政運営を確立するため、現実の歳入規模に見合った行財政構造へと見直しを図っていきます。

令和5年度当初予算額

523億9,353万円

●各会計別予算額

	令和5年度当初予算額	令和4年度当初予算額	前年度比(%)	
一 般 会 計	228億3,000万円	220億3,000万円	3.6	
特 別 会 計	国民健康保険事業	51億900万円	50億3,200万円	1.5
	職員退職手当管理	5億4,760万円	5億3,070万円	3.2
	墓地公園整備事業	700万円	710万円	△ 1.4
	介護保険	48億710万円	46億1,690万円	4.1
	後期高齢者医療保険	8億3,940万円	7億9,650万円	5.4
小 計	113億1,010万円	109億8,320万円	3.0	
企 業 会 計	病 院 事 業	113億5,932万円	114億474万円	△ 0.4
	介護老人保健施設事業	4億441万円	4億924万円	△ 1.2
	水 道 事 業	19億314万円	16億8,044万円	13.3
	下 水 道 事 業	45億8,656万円	51億7,569万円	△ 11.4
小 計	182億5,343万円	186億7,011万円	△ 2.2	
合 計	523億9,353万円	516億8,331万円	1.4	



みんなで作る日本遺産写真展受賞作品（優秀賞）「瀬戸の日の出」 門 光廣 氏

4つの柱ごとの主要施策

第1の柱

安心「誰もが健やかに暮らせる安心と安全のまちづくり」

誰もが安心して暮らせる地域社会の構築

市民の皆様が住み慣れた地域で支え合いながら誰もが地域社会の一員として、いきいきと安心して暮らすことができるよう、赤穂市地域福祉計画に基づき、社会福祉協議会をはじめ、社会福祉法人や関係機関等と連携を深めながら、人と人とのつながりや関わり合いを更に強化していきます。

また、生活保護の医療扶助におけるオンライン資格確認を導入するため、生活保護システムを更新し、受給者の方々の利便性を高め、自身の健康管理に役立てていただけるよう努めます。

子ども・子育て家庭の支援については、児童虐待やヤングケアラーなど子どもを取り巻く様々な課題に対応するため、引き続き子ども家庭総合支援拠点運営事業として子ども家庭支援員を配置し、子どもや子育て家庭に寄り添った相談・支援業務を実施します。また、子どもの居場所づくりについては、食材配布により、生活に困窮している子育て家庭を支援するとともに、地域の身近な相談窓口として、子どもが必要とする支援と行政をつなげる活動を行う団体に対して新たに補助金を支給し、子どもが健やかに成長できる環境を整備していきます。

子育て環境のPRについては、引き続き子育てフェスタを開催するなど、あこう子育てアンバサダーを中心に子育て支援情報の発信・PRに努め、地域全体で子育てを支援する気運を醸成していきます。

また、子育て世帯の経済的負担を軽減するため、学校給食費については、第3子以降の無償化を継続実施するとともに、幼稚園児及び小・中学生の給食費の一部無償化を実施します。また、保育所の待機児童については、引き続き保育人材の確保などにより、その解消を図ります。

障がい者福祉については、障がいの有無に関わらず尊重しあえる共生社会の実現のため、障がいに対する理解を深め、障がいのある人が住み慣れた地域で暮らすことができるよう、引き続き地域生活支援事業として相談支援事業、意思疎通支援事業や手話奉仕員養成研修事業、医療支援型グループホーム運営支援事業などを実施します。



高齢者福祉については、高齢者が生きがいをもって健やかに暮らすことができるよう、引き続きいきいき百歳体操、フレイル予防教室などの介護予防事業を実施するほか、高齢者の日常生活の支援体制の充実・強化に努め、地域包括ケアシステムを推進していきます。

国民健康保険制度については、高齢化の進行や医療技術の高度化等の影響による一人当たり医療費の増加や、被保険者数の減少などにより、安定的な運営が困難な状況が続くと想定される中、県下の保険料水準の統一に向けて、年度間負担の公平性を確保する観点から、計画的かつ段階的に保険税率の改正を行うとともに、引き続き生活習慣病の予防対策や後発医薬品の使用促進等に取り組み、被保険者の健康増進と医療費の適正化に努めます。

介護保険制度については、第8期介護保険事業計画の最終年度を迎え、介護サービス給付等の実態把握に努めるとともに、引き続き介護予防の強化に取り組みます。

後期高齢者医療制度については、兵庫県後期高齢者医療広域連合と連携を図るとともに、市民の皆様の窓口として、保険料の徴収、各種申請の受付等の役割を果たしていきます。

健康づくりの推進といのちを守る地域医療の充実

健康づくりについては、誰もが住み慣れた地域で、健康でいきいきと暮らしていくことができるまちづくりを目指し、それぞれのライフステージに応じた健康づくり活動を推進します。

母子保健対策については、不妊治療を受けられる方に対し、妊活応援金を支給するほか、妊婦健康診査費用の助成金額の増額、不育症治療費や不妊治療ペア検査費助成の所得制限を撤廃するなど、安心して子どもを産み育てられる支援の充実を図っていきます。

また、全ての妊婦・子育て世帯が安心して出産し、子育てができるよう、妊娠期から出産・育児期まで切れ目なく身近において相談に応じ、必要な支援につなげる伴走型相談支援と出産・育児関連用品購入費用の一部を助成する出産・子育て応援給付金を支給します。

病院事業については、引き続き地方公営企業法の全部適用で運営していきます。その運営に当たっては、地域の医療機関との連携強化等による収入の確保や経費削減による費用の抑制などに努め、経営改善に引き続き取り組みます。さらに、新型コロナウイルスの感染症法上の位置付けが変更されることを踏まえた適切な感染症対策をはじめ、病院職員が一丸となって公立病院として安全・安心な医療を提供できるよう対応していきます。また、一般会計からも最大限の支援を行いたいと考えています。



安全な暮らしを実現する強靱な都市基盤の整備

災害に強いまちづくりについては、近年、自然災害が激甚化・頻発化する中、更なる防災・減災対策が求められており、県と連携して防災対策に取り組むとともに、災害時における即応力の向上を目指して、防災意識の普及啓発と地域を中心とした自主防災組織による防災総合訓練などを、引き続き実施していきます。

消防・救急体制については、消防ポンプ自動車の更新や消防・救急業務の要である通信指令設備の安定運用を図るために必要な改修を行います。非常備消防体制としては、第11分団詰所の移転新築や第7分団消防ポンプ自動車の更新のほか、団員の階級にある者の年額報酬を引き上げるとともに新たに出勤報酬を創設し、処遇改善を図ります。

次に、安全な暮らしの実現については、赤穂市通学路交通安全プログラム等で実施した点検結果を踏まえ、危険箇所や通学路を中心に防護柵やカーブミラーなどの交通安全施設を整備するほか、車両の抜け道となる道路への注意喚起看板の設置などを行うとともに、国や県に対しても対策を要望し、登下校時の子どもたちの安全確保を図ります。また、消費生活相談を充実させるとともに、年々、手口が複雑巧妙化している特殊詐欺などに遭わないよう、啓発活動に努め消費者の被害抑制に引き続き取り組みます。



誰もが安心して暮らせる地域社会の構築

①多様なつながりと支え合いによる地域福祉を進める

- ・ひきこもり対策推進事業 ……426万円
- ・就労準備支援・家計改善支援事業 ……210万円
- ・福祉のまちづくり推進事業 ……600万円

②すべての子どもと子育て家庭を地域全体で支える

- ・アフタースクール子ども育成事業 ……7,470万円
- 子ども・子育て支援事業計画策定事業 ……390万円
- ・乳幼児一時預かり事業 ……738万円
- ・病児・病後児保育事業 ……830万円
- ・子どもの居場所づくり推進事業 ……190万円
- こども食堂運営 ……(60万円)
- ▷学習支援補助 ……(30万円)
- つながりの場づくり支援 ……(100万円)
- ・特定教育・保育施設給付事業 ……1,259万円
- ・子ども家庭総合支援拠点運営事業 ……373万円
- ・第3子いきいき子育て応援事業 ……525万円
- ・保育料軽減事業 ……689万円
- ・中学生第3子手当支給事業 ……18万円

★伴走型相談支援及び出産・子育て応援給付金事業

- ……2,022万円
- ・幼稚園預かり保育事業 ……9,360万円
- ・アフタースクール整備事業 ……500万円
- 城西アフタースクール

★保育所安全対策事業 ……180万円

③障がいの有無に関わらず尊重しあえる共生社会を実現する

- ・障がい福祉計画等策定事業 ……215万円
- ・障害者地域生活支援事業 ……7,170万円
- 医療支援型グループホーム運営支援事業ほか
- ・障がい者スポーツ普及事業 ……40万円
- ・在宅障がい者一時受入事業 ……57万円

④高齢者が生きがいをもって健やかに暮らせる環境をつくる

- ・高齢者を見守る支えるネットワーク推進事業 ……99万円
- ・高齢者健康支援事業 ……86万円
- ・介護老人保健施設事業 ……3億2,211万円
- ・介護保険事業
- ▷保険給付 ……43億6,250万円
- ▷地域支援事業 ……3億2,095万円

⑤社会保障制度を適切かつ健全に運営する

- ・被保護者就労支援事業 ……298万円
- ・生活保護安定運営対策等事業 ……576万円
- 医療扶助のオンライン資格確認導入ほか
- 生活保護システム更新事業 ……1,260万円
- ・国民健康保険税
- 出産育児一時金の引き上げ、課税限度額・税率の改正

健康づくりの推進といのちを守る地域医療の充実

①市民一人ひとりの主体的な健康づくりを支援する

- ・予防接種費 ……1億3,608万円
- ・育児健康支援事業 ……244万円
- ・乳幼児健診 ……333万円
- ・健康増進事業 ……9,190万円
- ▷健康診査 ……(8,713万円)
- ▷歯科健診 ……(244万円)
- ▷健康づくり支援事業 ……(23万円)
- ▷特定保健指導 ……(210万円)
- ・健康診査費等助成事業 ……2,813万円
- 妊婦健康診査 ……(2,011万円)
- ▷妊婦歯科健康診査 ……(30万円)
- ▷産婦健康診査 ……(68万円)
- ▷新生児聴覚検査 ……(60万円)
- ▷乳児健康診査 ……(99万円)
- ★妊活応援 ……(300万円)
- ▷がん患者医療用補整具購入 ……(156万円)
- ▷骨髄等移植ドナー支援 ……(20万円)
- 不育症治療 ……(64万円)
- 不妊治療ペア検査 ……(5万円)
- ★低所得妊婦初回産科受診料支援 ……(1万円)

②市民が安心できる地域医療体制をつくる

- ・救急医療情報システム事業負担金 ……112万円
- ▷兵庫県広域災害救急医療情報システム運営 ……(36万円)
- ▷小児救急医療電話相談 ……(76万円)
- 病院事業会計繰出金 ……14億82万円
- ▷従来分 ……(11億82万円)
- ▷経営健全化分 ……(3億円)
- ・市民病院整備事業 ……3億2,148万円

安全な暮らしを実現する強靱な都市基盤の整備

①災害に強い安全で強靱なまちをつくる

- ・ため池治水活用拡大促進事業補助 ……42万円
- ・耐震改修促進事業 ……1,022万円
- ・感染症対策事業 ……830万円
- ・里山防災林整備事業 ……100万円
- ・治山事業 ……920万円
- ・急傾斜地崩壊対策事業 ……2,650万円

②安心な暮らしを支える消防・救急体制をつくる

- 消防団員報酬 ……4,159万円
- ・消防車両整備事業 ……6,000万円
- ・消防団詰所整備事業 ……6,900万円
- 第11分団詰所移転新築工事

③交通事故や犯罪のない安全な暮らしを実現する

- ・交通安全対策推進費 ……70万円
- ・地域サポート安全対策事業 ……206万円
- ・消費者行政活性化事業 ……623万円
- ・交通安全施設等整備事業 ……750万円

第2の柱

快適「自然環境と都市環境とが調和した住みやすいまちづくり」

快適で魅力ある都市空間の形成

土地利用の推進については、地域の実情に応じた土地利用を図るため、特別指定区域制度等の活用に向け、土地利用計画の見直しを検討していきます。

道路網と公共交通体系の構築については、国道2号や国道250号など広域幹線道路の整備促進及び事業化を関係自治体と連携しながら、引き続き国や県に要望していきます。なお、国道250号高取峠については、相生・赤穂広域幹線道路整備促進協議会や議会の意見等も伺いながらトンネル化及び局所的な交通事故防止対策について要望していきます。

また、赤穂大橋線に係る用地買収や物件移転補償事業などに取り組み、都市計画道路の整備のほか、通学路側溝整備工事や舗装修繕工事を適宜実施していきます。

本市の公共交通のマスタープランである地域公共交通計画については、地域の皆様のご意見やアンケート結果、近畿運輸局からの提案等を踏まえ、公共交通事業者、関係機関や住民等で組織する地域公共交通活性化協議会において協議を重ねながら策定していきます。

市内循環バス「ゆらのすけ」及びデマンドタクシー「うね・のり愛号」の運行については、東備西播定住自立圏形成推進協議会圏域バス「ていじゅうろう」や路線バス及びタクシー事業者とも連携しながら、引き続き公共交通としての利便性向上に努めていきます。

また、近隣自治体と連携した要望活動等により、JRの利便性向上と利用促進に努めていきます。

水とみどり豊かなまちづくりの推進については、赤穂城跡公園二之丸庭園における西中門の整備や第4種公認に向けた赤穂城南緑地陸上競技場の整備に取り組むほか、公園施設の安全・安心対策事業を実施し、子どもや高齢者等、誰もが安全で安心して利用できるよう都市公園を整備していきます。



自然環境の保全と住環境の充実



自然・生活環境の保全については、市民の生命の源である清流千種川をはじめとする豊かな自然環境を保全するため、引き続き大気や水質等に関する環境調査を実施していきます。また、飼い主のいない猫の不妊・去勢手術費用の助成及び啓発活動を引き続き行っていきます。

なお、市内の産業廃棄物最終処分場建設計画については、反対の立場でその動向の把握に努め、引き続き議会をはじめ、関係自治体、産業廃棄物最終処分場建設反対赤穂市民の会等と連携しながら、適切に対応していきます。

水道事業については、引き続き経営の効率化、合理化に努め、安心で安全な水を安定して供給するため、管路やポンプ等の更新を計画的に進めるとともに、水質安全対策として原水源地において紫外線処理設備工事を実施していきます。

下水道事業については、水道事業と同様、引き続き経営の効率化、合理化に努めながら、土地区画整理地内における管渠整備のほか、御崎地区雨水渠整備工事等を実施していきます。

また、将来にわたり適切な維持管理と計画的な施設・設備の更新を図るため、「(仮称)赤穂市上下水道事業在り方検討委員会」を設置し、今後の上下水道事業のあり方について検討していきます。

快適で魅力ある都市空間の形成

①地域の特性に応じた土地利用を推進する

- ・土地利用計画変更事業 ……360万円
- ・地籍調査事業 ……520万円

②利便性・機能性の高い道路網と公共交通体系を構築する

- ・地域公共交通計画策定事業 ……357万円
- ・市内循環バス運行事業 ……2,030万円
- ・デマンドタクシー運行事業 ……303万円
- ・都市計画街路事業 ……1億5,470万円
- ・生活道路、橋梁整備 ……2億9,260万円
塩屋野中線 ○通学路側溝整備ほか

③水とみどり豊かな都市をつくる

- ・赤穂城跡公園整備事業 ……8,670万円
- ・城南緑地施設整備事業 ……4,220万円
- ・都市公園整備事業 ……870万円
- ・都市公園安全・安心対策事業 ……3,450万円

自然環境の保全と住環境の充実

①豊かな自然環境・生活環境を保全する

- ・環境基本計画推進事業 ……127万円
- ・飼い主のいない猫対策事業 ……92万円
- ・産業廃棄物最終処分場対策補助金 ……30万円
- ・山地緑化事業 ……380万円
- ・赤穂ふれあいの森整備事業 ……270万円
- 林地施設整備事業 ……120万円
- ・火葬施設整備事業 ……360万円
- 市有墓地整備事業 ……800万円

- ・上水道の整備 ……7億113万円
▷原水施設（原水源地地下水紫外線処理設備工事ほか）
- ▷配水施設（御崎配水管改良工事ほか）
- ・下水道の整備 ……4億9,199万円
▷汚水管渠整備（有年土地区画整理地区ほか）
- ▷雨水渠整備（御崎地区）
- ▷ポンプ場建設改良事業（ポンプ機械設備整備工事ほか）
- ▷処理場建設改良事業（有年原地区農業集落排水処理施設機能強化工事ほか）
- ・ごみ処理施設整備事業 ……9億3,340万円
- ・不燃物最終処分場整備事業 ……1,300万円
○浸出液処理施設再整備計画策定

②快適で潤いのある住環境をつくる

- ・空家等対策事業 ……1,920万円
▷危険空家除却費補助ほか
○空家活用支援事業補助
- ▷古民家再生促進支援事業補助
- ・レンタサイクル事業 ……168万円
- ・土地区画整理事業 ……1億7,557万円
▷有年地区 区画道路築造工事ほか
▷野中・砂子地区 組合補助金ほか ……（4,840万円）
- ▷浜市地区 清算金ほか ……（57万円）
- ・区画整理区域隣接道路整備事業 ……3,100万円

ごみ処理施設については、新施設へ移行するまでの間の安定稼働を図るため、令和4年度から3か年計画で行っている大規模改修工事を引き続き実施していきます。

住環境については、空家対策として、赤穂市空家等対策計画に基づき、危険空家の除却や空家となった古民家を再生する場合の費用助成を継続実施していきます。また、兵庫県空家等活用促進特別区域制度により、空家等を活用して、まちなみ景観を維持・保全するとともに、移住、定住及び交流を通じて地域の活性化を図っていきます。

土地区画整理事業については、引き続き保留地の販売に努めるほか、有年地区及び野中・砂子地区の区画道路築造工事などに取り組むとともに、野中・砂子地区に隣接する宅地の有効活用を図るための隣接道路を整備していきます。

第3の柱

元気「産業と地域資源を活かした魅力あふれるまちづくり」
活力とにぎわいのある地域産業の振興

農業・漁業の振興については、引き続き新規就農者や認定農業者等の担い手確保に取り組むほか、生産者、赤穂市漁業協同組合、JA兵庫西等の関係機関と連携しながら、牡蠣、ミカン等の地場産品についてブランド価値の保護及び新規ブランド化を推進するとともに、農業用施設の防災・減災対策などを実施していきます。また、田端・上浜市地区のほ場整備事業の事業化を図るため、基礎資料となる調査を引き続き行うとともに、農業振興地域整備計画の見直しに取り組んでいきます。

地域産業の振興と就労環境の充実については、引き続き工場立地促進条例に基づく奨励金の周知を図り、立地企業の設備投資を促すとともに、市内への企業誘致や留置につなげていきます。また、赤穂ふるさとづくり寄付金については、地場産品の返礼品を充実させ、地域経済

の活性化につなげるとともに、本市の魅力発信により更なる寄付金の増収を図っていきます。

観光振興については、令和4年に候補DMOとして登録された「一般社団法人あこう魅力発信基地」と連携し、官民が一体となって本市の持つ多彩な魅力を積極的に発信し、交流人口の拡大につなげていきます。

また、忠臣蔵や国史跡赤穂城跡に加え、二つの日本遺産を活用し、地域経済の活性化につなげるよう引き続き取り組んでいきます。



活力とにぎわいのある地域産業の振興

①活力とにぎわいのある農業・漁業を実現する

- ・地産地消推進事業 ……105万円
- ・赤穂ブランド推進事業 ……70万円
- 農業振興地域整備計画作成事業 ……380万円
- ・農地・水保全管理事業 ……5,240万円
- ・水産振興対策支援事業 ……556万円
- ・農村地域防災減災事業 ……7,850万円
- ・農業基盤整備促進事業 ……400万円

②地域産業を振興し就労環境を充実する

- ・商業振興事業 ……443万円
- ・ふるさとづくり寄付金推進事業 ……2億4,170万円
- ・企業立地促進事業 ……4,278万円
- ・中小企業経営安定資金融資事業 ……1億5,340万円
- ・高齢者就業機会確保事業 ……1,580万円
- ・商業施設整備事業 ……1,200万円
- 赤穂駅周辺施設整備事業 ……690万円

③魅力と集客力のある観光を振興する

- ・義士祭奉賛会補助金 ……2,220万円
- ・観光アクションプログラム推進事業 ……174万円

- ▷観光キャンペーン事業 ……（89万円）
- ▷観光イベント補助 ……（40万円）
- ▷観光客おもてなし事業 ……（45万円）
- ・DMO運営費補助金 ……2,850万円
- ・観光魅力発信事業 ……1,500万円
- 日本遺産推進事業 ……290万円

さまざまな人・地域との活気ある交流の促進

①特色ある地域間交流を推進する

- ・義士親善友好都市交流事業 ……106万円
- ・グローバル化教育推進事業 ……2,597万円
- ・定住自立圏構想推進経費 ……400万円

②住み続けたい赤穂市の魅力で移住・定住を促進する

- ・定住支援推進事業 ……720万円
- DMOと連携した情報発信・定住相談事業、お試し暮らし住宅事業ほか
- ・東京あこうのつどい開催経費 ……204万円

さまざまな人・地域との活気ある交流の促進

地域間交流については、姉妹都市である笠間市及び山鹿市をはじめ、西尾市などとのスポーツ・文化活動を通じた交流を行うほか、全国の忠臣蔵ゆかりの自治体との交流を推進していきます。

ロッキングハム市との交流については、児童合唱団の音楽交流を実施するなど、より一層関係が深まるよう国際交流協会と連携して取り組んでいきます。また、4名のALTを配置し、児童生徒の英語や国際社会、異文化に対する理解と意識の醸成を図っていきます。

人口減少、災害や公共交通など広域的な取組みが必要な行政課題への対応については、引き続き東備西播定住自立圏形成推進協議会や播磨圏域連携中枢都市圏をはじめ、兵庫県市長会、西播磨市町長会、兵庫・岡山両県境隣接市町村地域振興協議会等を通じて、近隣自治体と連携し、取り組んでいきます。

移住・定住の促進については、あこう魅力発信基地と連携し、本市の持つ多彩な魅力の発信に努めるほか、お試し暮らし住宅事業の拡充を図るなど、移住を希望する人たちに赤穂市を定住先として選択してもらえるよう取り組んでいきます。



第4の柱

人「歴史と文化が息づく人とコミュニティを育むまちづくり」

次代を担う人材を育てる教育の推進

教育環境づくりについては、赤穂市教育振興基本計画に基づき、「夢と志を育む教育」の実現に向け、総合的かつ計画的に整備していきます。

学校給食センターについては、新学校給食センター整備基本計画に基づき、用地を取得するとともに、設計・施工事業者を選定し、3か年計画で整備事業を進めていきます。

幼児教育については、家庭や地域との連携を深めるとともに、幼児の「生きる力」の基礎を育み、一人ひとりの発達や特性に応じたきめ細かな教育を充実させていきます。

義務教育については、これからの時代を生き抜く児童生徒に必要な資質・能力を育むため、ICT環境を効果的に活用して学習活動の充実を図り、児童生徒に基礎的かつ基本的内容を確実に習得させるなど、確かな学力の定着に努めていきます。

児童生徒の学びについては、各学校において主体的かつ対話的で深い学びの実現に向けた授業改善を図っていきます。特に、学習の基盤となる情報活用能力の育成や個に応じた教育の充実を図り、これからの時代に対応した新たな教育活動に努めていきます。また、中学校の部活動については、外部指導員の配置により、可能な限り現状の指導体制の維持に努めるとともに、生徒たちが継続してスポーツや文化活動に親しむことができる環境づくりを進めていきます。

特別支援教育については、通常学級においても、一人ひとりの障がいの特性に応じたきめ細かで適切な指導を受けることができるよう、特別支援教育指導補助員を配置し、学習環境の充実や施設整備を図っていきます。

地域に開かれた学校園づくりについては、市内全ての小・中学校に設置している学校運営協議会いわゆるコミュニティ・スクールを中心として、地域への愛着や誇りを育めるよう、特色ある学校づくり推進事業、トライやる・ウィーク推進事業及び環境体験事業などを通して地域とともにある学校づくりを推進していきます。

青少年の育成については、青少年育成推進委員や学校サポートチーム及び関西福祉大学等の関係機関と連携して、スクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカー、心の教室相談員を配置し、教育相談活動を充実させていきます。また、全ての小・中学校へのスクール・サポート・スタッフの配置等により教員の業務改善を進め、教員が児童生徒一人ひとりと向き合う時間を確保していきます。

歴史や文化、スポーツを通じた市民が活躍できる地域コミュニティの構築

市民会館や地区公民館については、生涯にわたって学び楽しむことができるよう、計画的な設備・備品等の設置により、環境整備に努めていきます。また、生涯学習については、中央公民館や各地区公民館を拠点として、高齢者大学や歴史講座などの各種講座を開催し、引き続き多様化する市民ニーズに対応していきます。

図書館については、照明設備改修に係る実施設計などを行うほか、絵本講座やブックスタート事業などの読書活動事業をはじめ、電子書籍の充実やブック宅配サービスにより、引き続き読書に親しむことができる環境を整えていきます。

スポーツ活動については、赤穂市スポーツ推進計画に基づいて、誰もが、いつでも、どこでも、いつまでもスポーツに親しむことができるよう、活動の場と機会を充実させるとともに、体育協会をはじめスポーツ関係団体と連携して、市民総合体育祭や各種スポーツ大会などの開催を支援し、地域におけるスポーツ・レクリエーションの普及に努めていきます。

また、スポーツの振興と交流人口の拡大を図るため、忠臣蔵旗少年剣道大会などを引き続き支援するほか、赤穂義士杯青少年柔道大会、市長旗争奪少年野球大会、国体剣道競技近畿ブロック大会や各種県民大会などの広域大会の開催により、スポーツによる元気なまちづくりを推進し、全国に忠臣蔵のふるさと播州赤穂を発信していきます。

互いが尊重しあえる社会の実現については、近年SNS等を通じた個人に対する誹謗中傷が多く見受けられることなどから、家庭、学校、地域などあらゆる場や機会を通じて人権啓発活動を推進し、人権意識の高揚、普及啓発に努めていきます。また、男女共同参画社会づくりについては、令和6年度から10年間の計画となる第3次赤穂市男女共同参画プランの策定に着手し、社会のあらゆる分野で性別に関わらず全ての人が対等に参画できる機会を確保し、ともに責任を分かち合う社会づくりを目指していきます。

歴史文化遺産の保存・活用については、引き続き赤穂城跡の二之丸城壁整備などの文化財保存整備事業を行うほか、指定地内民有地の取得を進めていきます。また、図説赤穂市史の編集や市史史料集の発刊のほか、獅子舞などの伝統文化の映像記録化や赤穂市伝統文化祭の開催など文化財の公開と活用を図り、積極的に情報発信をしていきます。

歴史博物館においては、特別展「(仮称) 児嶋なか生誕200年記念赤穂緞通展」を開催するほか、美術工芸館においては、特別展「赤穂ゆかりの日本画展」などを開催していきます。

文化会館については、多様な文化芸術活動の拠点施設として多くの方々にご利用いただく交流の場となるよう運営に努め、4年ぶりとなる松竹大歌舞伎や赤穂名人寄席の鑑賞事業を開催するほか、フェスタ・アルモニカ・イン・アコウ合唱の祭典やピッコロ劇団ファミリー劇場わくわくステージなど市民が参加・体験できる事業を実施し、文化芸術活動の振興と奨励を図っていきます。

また、文化団体とも連携しながら、市民文化祭や美術展などを開催するほか、引き続き文化活動激励金を支給するなど、様々な文化芸術活動を支援していきます。

ル・ポン国際音楽祭については、赤穂の名を広く国内外に発信し、交流人口の拡大により、地域の活性化や観光振興につなげるとともに、市民の皆様が気軽にクラシック音楽に触れ、楽しんでいただく機会を提供していきます。

コミュニティ活動の活性化については、それぞれの地域の特色を活かした地区まちづくりビジョンを実現するため、各地区における自発的なまちづくり活動を支援していきます。



市民と協働する市政運営の推進

社会全体でデジタル化の流れが加速し、地方自治体においても様々な分野で業務のデジタル化が求められていることから、税、住民基本台帳、子育てなどの基幹業務システムの標準化・共通化への対応を図り、行政のデジタル化に向けた取組みを推進していきます。

また、マイナンバーカードは、行政手続きのオンライン化に必須となることから、公民館等における出張申請受付や申請サポート業務を実施し、その取得を促進するとともに円滑な交付に努めていきます。

個人情報保護制度については、令和5年4月1日からの改正個人情報保護法の施行に伴い、法に基づく全国的な共通ルールによる運用へと変更されることから、円滑な制度の移行となるよう努めるとともに、引き続き市が保有する個人情報の適正な管理・運用を図っていきます。

行政情報については、広報あこうやホームページのほか、SNS、動画配信など様々な情報媒体の特性を活かして広報活動を行い、市民の皆様との情報の共有化に努めるとともに、ミニ対話集会を引き続き実施するなど、市民と行政とが共に歩む、開かれた市政を推進していきます。

また、複雑・多様化する市民ニーズを的確に把握し、地域の諸課題を解決していくためには、市民の皆様をはじめ、企業や各種団体、NPO、大学等との協働によるまちづくりが必要不可欠であります。

このため、パブリックコメントの実施や審議会委員等の公募など、市政全般において、市民参加の機会を引き続き設けていきます。

関西福祉大学とは、引き続きインターンシップ制度や大学院への職員派遣研修等を通じ、時代の要請に的確に対応できる人材を養成するなど連携を深めていきます。

一方で、本市の財政環境は、依然として基金を取り崩さざるを得ない状況が続き、更に原油価格や物価の高騰に伴う経費負担も大きく増加しております。こうした中で、市民に寄り添った施策を総合的かつ計画的に展開していくためには、不断の行財政改革に取り組むとともに、企業版赤穂ふるさとづくり寄付金など積極的な歳入の確保に努め、効率的で効果的な事業実施を行っていく必要があります。

限られた人員の中ではありますが、全体の奉仕者として職員一人ひとりが高い倫理観と強い使命感・責任感のもと、常にコスト意識と経営感覚を持ち、時代の変化に的確に対応し、市民の目線で考えながら変革・



創造ができる人材の育成に努めるとともに、コンプライアンスに対する意識の向上に引き続き取り組みながら、風通しの良い生産性の高い職場環境を構築していきます。

ウイズコロナの下、目まぐるしく社会経済情勢は変化し、行政が取り組むべき課題も山積しております。困難な課題にも全力で取り組み、市民の皆様の声聞き、一つ一つ着実に問題を解決しながら、将来を見据えたまちづくりを進めていきますので、どうか、格段のご理解とご協力をお願いいたします。

広報あこう予算特集号・財政特集号の発行終了について

これまで別冊で発行してきました広報あこう予算特集号・財政特集号については、行政改革に伴う「経費等の削減」の一環として、別冊での発行を終了します。今後は、広報あこうの特集記事で予算や財政状況をお伝えしますので、ご理解をお願いします。



歴史と文化が息づく人とコミュニティを育むまちづくり

★新規事業、○拡充事業（1万円未満四捨五入）

次代を担う人材を育てる教育の推進

①夢と志を育むことのできる教育環境をつくる

- ・特色ある学校づくり推進事業 ……358万円
- ・学習支援教員配置事業 ……1,475万円
- 4小学校各1名
- ・心いきいき推進事業 ……1,590万円
- 不登校児童生徒防止の総合的対応
- ・コンピュータCAI研究奨励事業 ……354万円
- デジタルドリル導入ほか
- ・情報教育推進事業 ……4,600万円
- ・部活動活性化推進事業 ……571万円
- ・学校業務改善推進事業 ……1,013万円
- スクール・サポート・スタッフ配置 全小中学校各1名
- 学校給食費補助金 ……3,470万円
- ・特別支援教育推進事業 ……3,060万円
- 特別支援教育指導補助員配置
臨床心理士による児童、生徒の発達相談
- ・特別支援教育事業 ……4,340万円
- ★学校施設等安全対策事業 ……750万円
- 非構造部材耐震補強
- ▷小学校 ……(400万円)
- ▷中学校 ……(180万円)
- ▷幼稚園 ……(170万円)
- ・大規模改修事業 ……650万円
- 新学校給食センター整備事業 ……1億2,010万円

②未来を拓く青少年の若い力を育てる

- ・青少年健全育成推進事業 ……108万円
- ・青少年育成センター等整備事業 ……110万円

歴史や文化、スポーツを通じた市民が活躍できる地域コミュニティの構築

①生涯にわたり主体的に学び楽しめる環境をつくる

- ・子育て学習活動推進事業 ……402万円
- ・公民館活動の充実 ……617万円
- ・市民総合体育館及び城南緑地運動施設等管理委託金 ……6,480万円
- 国体剣道競技近畿ブロック大会開催経費 ……90万円
- ★市民健康マラソン大会開催経費 ……300万円
- ・スポーツ全国大会等出場激励金交付事業 ……40万円
- ・図書館整備事業 ……1,680万円
- 野外活動センター整備事業 ……180万円

②互いが尊重しあいすべての人が自分らしく生きることが出来る社会を実現する

- ・隣保館事業 ……170万円
- ・人権啓発事業 ……143万円
- ・男女共同参画社会づくり推進事業 ……507万円
- ▷相談業務、審議会委員報酬、講演会ほか ……(172万円)
- 第3次男女共同参画プラン策定 ……(335万円)
- ③歴史文化遺産を保存継承し未来に向けて活用する
- ・地域文化財調査事業 ……190万円
- 地域伝統文化保存事業ほか
- ・文化会館自主事業助成（文化とみどり財団補助） ……1,850万円
- ★尾上松緑氏主演による松竹大歌舞伎公演の開催
- ・赤穂国際音楽祭開催事業 ……1,300万円
- ・文化活動激励金交付事業 ……10万円
- ・文化財保存整備事業 ……1億1,090万円
- 赤穂城跡史跡土地買上ほか
- ・文化会館整備事業 ……1,180万円
- ④地域の多様なコミュニティ活動を活性化する
- ・まちづくり振興協会補助金 ……392万円
- ・地区まちづくり支援事業 ……657万円
- ・コミュニティ助成事業 ……250万円

市民と協働する市政運営の推進

①市民に開かれた健全で効率的な行財政運営を推進する

- ・高度情報化推進事業 ……1億2,850万円
- ・戸籍事務電算化事業 ……2,630万円
- キャッシュレス対応レジ導入ほか
- ・議会情報化推進事業 ……401万円
- ・広報の充実 ……860万円
- ・マイナンバーカード交付事業 ……4,180万円
- マイナンバーカード出張申請受付ほか
- ・固定資産評価資料作成事業 ……1,880万円
- 特別職報酬等審議会開催経費 ……37万円
- ・電子入札事務経費 ……112万円
- ランダム係数改修負担金ほか
- ★企業版赤穂ふるさとづくり寄付金募集事業 ……100万円
- ・総合戦略推進事業 ……19万円
- ・県議会議員選挙 ……1,240万円
- ▷令和5年4月29日 任期満了

写真で見る予算

定住支援推進事業



事業費 **720**万円
県支出金 195万円
一般財源ほか 525万円

あこう魅力発信基地が実施する、空家を活用した新たなお試し暮らし住宅の設置や、移住希望者が調査に訪れた際の宿泊費助成、定住相談事業に対して補助金を支給するなど、移住定住の促進を図ります。

空家等対策事業

事業費 **1,920**万円
国庫支出金 150万円
県支出金 750万円
一般財源ほか 1,020万円



兵庫県の「空家特区条例」に基づき、坂越地区の一部区域において、空家や古民家等の地域資源を有効活用するため、特区内の空家改修費などに対する補助額を拡充し、移住定住や交流の推進、地域活性化を図ります。

企業版赤穂ふるさとづくり寄付金募集事業



事業費 **100**万円
一般財源 100万円

企業版ふるさと納税支援サービスを実施する中間事業者の情報ネットワークを活用し、赤穂市の取組を幅広く企業に対して周知・広報するなど、地方創生の深化に向けて寄付金の募集を積極的に推進します。

コンピュータ CAI 研究奨励事業

事業費 **354**万円
一般財源 354万円



小学3年から6年生を対象に、タブレット端末で使用する国語、社会、算数、理科のデジタルドリルの本格導入に向けた保護者負担について、全額公費負担することとし、児童の情報活用能力、学力向上を図ります。

子どもの居場所づくり推進事業



事業費 **190**万円
国庫支出金 131万円
一般財源ほか 59万円

子ども食堂や学習支援のほか、新たにつながるの場づくりとして、食材配布とともに相談支援を実施し、子どもが必要とする支援と行政をつなげる活動を行う団体に補助金を支給し、子どもの居場所づくりの促進を図ります。

学校給食費補助金

事業費 **3,470**万円
繰入金 3,470万円



学校給食費の一部（食材費支援に相当する額）を無償化するとともに、第3子以降の学校給食費を完全無償化することで、子育て支援の充実を図ります。

健康診査費等助成事業



事業費 **2,813**万円
国庫支出金 36万円
県支出金 113万円
一般財源 2,664万円

妊婦健康診査費について、助成額を従来の8万5千円から9万5千円へ増額を図るほか、生殖補助医療の不妊治療（体外受精、顕微授精）を受けた夫婦を支援するため、新たに妊活応援金を支給します。

新学校給食センター整備事業

事業費 **1億2,010**万円
県支出金 800万円
市債 8,590万円
繰入金 2,620万円



令和3年度に策定した基本計画、令和4年度に実施した用地調査等を踏まえ、基本設計や用地取得を実施し、令和7年9月の供用開始に向けた新学校給食センターの整備を本格化します。

市民憲章

わたくしたちの赤穂市は、播磨灘と千種川の清流にはぐくまれ、古い歴史と伝統をもつ、義士発祥のまちです。
このまちを愛するわたくしたちは、誇りと責任をもち、自然と調和のある豊かで希望にみちたふるさとづくりをめざし、ここに市民憲章を定めます。

1. 自然と歴史を大切に、美しいまちをきずきます。
1. 教養を高め、文化の向上につとめます。
1. 健康で働き、明るい家庭をつくります。
1. 互いに助けあい、愛の輪をひろげます。
1. きまりを守り、秩序ある生活をおくります。